【注意喚起】進学選択が可能となる条件の確認について

教務課前期課程チーム

例年、進学選択が可能となる条件のうち、既修外国語・初修外国語の条件を満たせなかったことにより、進学選択に参加できない学生がいます。

既修外国語（英語・日本語以外）・初修外国語は６単位の成績の平均が４０点以上必要です。１Ｓセメスターの「〇語一列①」および「〇語二列」を単位取得しており（※）、かつ両科目の合計点数が１２０点に満たない場合は、１Ａセメスターの「〇語一列②」の点数次第で、１Ａセメスター終了時点で進学選択に参加できないことが確定してしまうケースがありますので、充分に注意してください。

（上記に該当する例）

１Ｓ	フランス語一列①	２単位	５６点（可）
１Ｓ	フランス語二列	２単位	５４点（可）
１Ａ	フランス語一列②	２単位	４点（不可）

この場合、６単位の成績の平均点は３８点になるので、進学選択が可能となる条件を満たしません。すでに修得（単位を取得）済みの「フランス語一列①」および「フランス語二列」の再履修・他クラス聴講はできません。また、外国語には受験資格Ｃ（定期試験を欠席した者または成績が「不可」だった者）による追試験がありません。よって、進学選択が可能となる条件を満たせないことが、１Ａセメスター終了時点で確定してしまいます。

※「〇語一列①」および「〇語二列」のいずれか、あるいは両方を未修得の場合については、２Ｓセメスターで再履修・他クラス聴講することにより、進学選択参加要件を満たすことが可能になる場合もあります。

今一度、『履修の手引き』p. 8「進学選択が可能となる条件」と自身の成績表を参照し、取得すべき成績について遺漏のないように注意してください。

なお、成績の原評価（点数）の閲覧については、教務課からのお知らせにて期間等が通知されますので、こまめに確認するようにしてください。

以　上